

初めての ICタグ入門



本資料では、ICタグを使って物品管理をシステム化・効率化していきたいと考えている方に向けて、ICタグの特徴や実際の管理事例をご紹介します。

-
- **ICタグとは** P3
 - **ICタグの種類** P4
 - **バーコードとICタグの違い** P5
 - **ICタグが活躍するシーン** P6
 - **物品管理システムによるICタグを使った物品管理の準備** ... P7
 - **ICタグを利用した「Convi.BASE(コンビベース)」の事例** ... P8
 - **ICタグに関するよくある質問** P10

ICタグとは

ICタグは、電波などの無線で通信する機能を持ったタグのことです。

ICチップとアンテナを組み合わせた構造をしており、無線タグ、無線ICタグ、RFタグなど、さまざまな呼び方をされています。最近ではアパレル店舗での在庫管理やセルフレジ精算でもICタグが使われるようになり、身近な存在になっています。



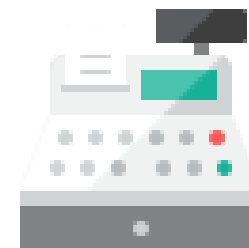
資産管理



物流



アパレル



セルフレジ

ICタグは、構造や仕組みによっていくつかの種類に分けることができます。

読み取り方式による分類

■ アクティブ型

- 電池を内蔵している
- 長距離の通信が可能
- タグ1枚あたりの単価が高い
- 電池寿命がある

■ パッシブ型

- 電池を内蔵していない
- 短距離の通信が可能
- 小型化や薄型化ができる
- 半永久的に利用できる

機能による分類

■ 積層タグ

- タグ同士が重なっていても読み取りが可能
- 重要文書や契約書の棚卸し、貸出し・返却管理に活用可能

■ 金属対応タグ

- 金属の影響を受けずに読み取りが可能
- IT機器、工具などの棚卸し、貸出し・返却管理に活用可能

■ リネンタグ

- クリーニングによる洗濯、脱水、乾燥などへの耐久性・耐熱性がある
- リネン、ユニフォームなどの在庫管理、貸出し・返却管理に活用可能

バーコードとICタグの違い

物品管理においてよく利用されるのがバーコード付きの管理ラベルです。
それでは、バーコードとICタグではどのような違いがあるのでしょうか？



ICタグが活躍するシーン

企業の資産管理においてICタグのメリットが活きるのは下記のようなシーンです。

- 複数の物品を一気に読み取って棚卸しを効率化したい
- 複数の物品の貸出し/返却/入出庫をまとめて行いたい
- 棚から物品を取り出さずに読み取りたい
- 物品の探索を行いたい

大量の文書の管理



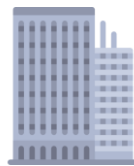
ファイルや文書保存箱にICタグを貼付して、棚卸しや入出庫処理を効率化

工具の持出し管理



工具に付けたICタグを読み取って、複数の工具の持出し・返却処理を実現

固定資産の棚卸し



オフィス内・工場内にある大量の固定資産物品の棚卸しを効率化

物品を探す時に



ICタグの探索機能で物品を探す時間を短縮

物品管理システムによるICタグを使った物品管理の準備

物品管理システム「Convi.BASE(コンビベース)」でICタグを使った管理をスタートするまでの手順を解説します。

1.手配

以下を用意します。

- ① バーコード・QRコードラベルプリンター
- ② RFIDハンディリーダー
- ③ UHF帯のパッシブタグ※



③について、お客様の管理対象やご要望にあわせて最適なICタグを弊社でご提案することも可能です。

※ UHF帯とはRFIDの種類（周波数帯）のひとつです。

2.エンコード

RFIDハンディリーダーでICタグ管理ラベルを作成します。

- ① バーコード・QRコード付き管理ラベルを発行



- ② 管理ラベルをICタグに貼付



- ③ RFIDハンディリーダーとBluetooth接続したiOSデバイスでバーコード・QRコードを読み取り、ICタグに管理番号を書き込み(エンコード)



3.貼付

完成したICタグラベルを物品に貼付します。
これでICタグラベルでの管理スタートです。



ICタグ管理ラベルの作成、貼付作業、棚卸し作業については弊社で代行が可能です。
こちらのサービスについては別途お問い合わせください。

株式会社センデン様の事例



業種	不動産	拠点数	16拠点
管理対象	鍵	課題	情報の一元管理・棚卸し効率化
管理点数	約8,000点	利用機能	棚卸し(ICタグ)、貸出し(QRコード)



■ Convi.BASE導入前

- 紙の台帳で鍵の貸出し・返却管理をしていたが、記入の不備が発生することがあった
- 各店舗間で鍵を共有することもあり、鍵の所在確認に時間がかかっていた
- 一店舗あたり棚卸しに3人がかりで3時間かかっていた



■ Convi.BASE導入後

- ✓ 鍵に名札を付け、それぞれの鍵に**QRコード**と**ICタグ**の管理ラベルを貼付
- ✓ 貸出し・返却処理は、スマートフォンでQRコードを読み取るだけなので、**記入の不備がなくなった**
- ✓ 棚卸しはICタグを読み取るだけになったので**10分程度**でできるようになった
- ✓ 店舗間で**鍵の所在を問い合わせる電話が激減**した

ICタグを利用した「Convi.BASE (コンビベース)」の事例 ②

RFIDハンディリーダー「UF-3000」の活用事例

物品管理システム「コンビベース」では、RFIDハンディリーダー「UF-3000」(東芝テック社製)とiOSデバイスをBluetoothでペアリング連携して物品管理が行えます。

棚卸し機能・貸出し機能・移動管理機能のほか、さらに便利な機能として**探索機能**があります。



■ UF-3000「探索機能」

UF-3000からICタグまでの大まかな距離や方向が表示されるので、効率よくICタグを探索することができます。

「棚卸しの際に、対象の物品が見つからない」という時に、便利な機能です。



ICタグ読み取りイメージ



探索機能画面

- ※ UF-3000（中心）からどの方向に、どのくらい離れた場所にあるのかが分かります。
- ※ 探索機能は「棚卸し管理オプション」のみ利用可能です。

ICタグに関するよくある質問

Q1. ICタグはどのくらいの距離から読み取りが可能？

- A. だいたい1m前後くらいの距離で読み取りできます。
しかし、周囲の環境や使用するICタグの種類により読み取り距離は変わるため、ICタグで管理を行う場合には事前検証が必須です。

Q2. ICタグの価格はいくら？

- A. コンビベースを利用されているお客様では、100～500円程度のものを利用されるケースが多いです。
※種類やロットにより様々な価格帯のICタグがあります。

Q3. ICタグの取り付け方は？

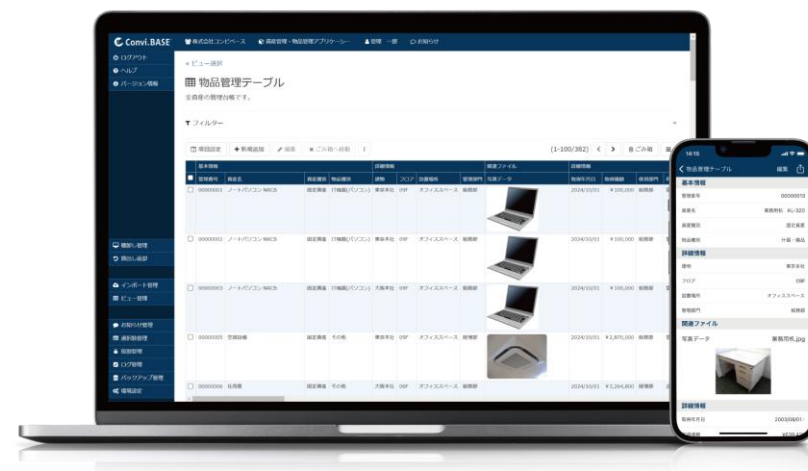
- A. 管理対象にもよりますが、「結束バンド」「両面テープ」「ネジ」「熱収縮チューブ」などによる取り付け方法があります。

Q4. 管理番号を書き換えて再利用できる？

- A. コンビベース標準対応のRFIDハンディリーダーはリライトもできるため、管理番号を書き換えることができます。

物品管理クラウドサービス「コンビベース」の資料のご案内のほか、
資産調査・ラベル発行・棚卸し代行などのアウトソーシングサービス、
運用マニュアル作成・業務フロー策定などのコンサルティングサービス
についてもお気軽にご相談いただけます。

「こんな運用できる？」など、物品管理システムに興味をお持ちの
方は、お気軽にお問合せください！



資料を請求する / オンライン無料デモに申し込む

- ✓ 何ができるのか概要を聞きたい
- ✓ 機能や費用について質問したい
- ✓ 自社の運用に合うか確認したい
- ✓ 導入事例・運用事例を聞きたい
- ✓ 物品管理の始め方を相談したい
- ✓ ラベル発行・貼付代行について聞きたい



お問い合わせ

株式会社コンビベース
営業部 マーケティンググループ



03-5643-6743



cb-info@convibase.co.jp